

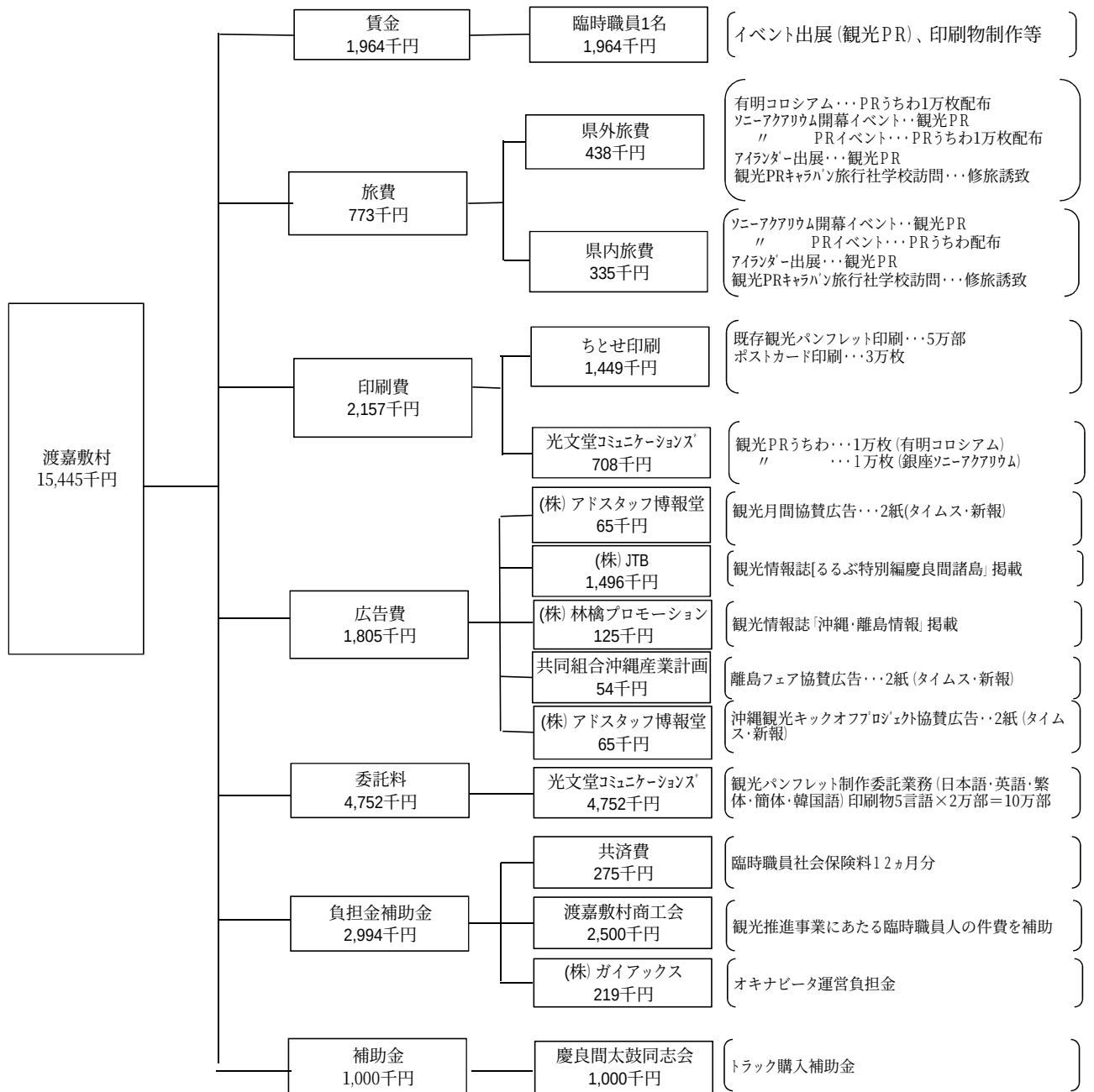
市町村名	渡嘉敷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－① 渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－3－(12)－ア		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度		観光リゾート産業の振興		
			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ－1－(1)		
事業内容	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した観光情報の発信及び外国人観光客に対応するため観光パンフレットを刷新し多言語版を制作する。						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,103	6,640	13,965		
		(b)予算現額	3,803	5,931	15,445		
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,300	▲ 709	1,480		
		(d)繰越額	—	—	0		
		A. 計(b+d)	3,803	5,931	15,445		
	B. 執行済額		3,803	5,931	15,445		
	うち交付金充当額		3,042	4,745	12,356		
	次年度繰越額		0		0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100%		
	予算の状況の説明		当初の予定にはなかった、国立公園指定記念で旅行雑誌「るぶ特別編慶良間諸島」を、座間味村と共同で費用負担し発刊したために140万円余りの増額となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・修学旅行PR事業展開(県外)	目 標	(8箇所)	(実施)	(20校)	()	
		実 績	8箇所	実施	18校		
	・離島フェア等各種イベントで島のPR活動展開(県内外)	目 標	()	()	(5000)	()	
		実 績			5000		
	・観光パンフレット(4ヶ国語)作成	目 標	()	()	(4言語4万部)	()	
		実 績			5言語10万部		
	・観光情報誌への広告掲載	目 標	()	()	(1誌)	()	
		実 績			1誌		
	達成状況説明	・修学旅行PR事業展開(県外)・・・日本旅行沖縄仕入販売センター、沖縄県商工会連合会、OCVB国内事業部、近畿日本ツーリスト沖縄仕入販売センター、東武トラベル沖縄仕入センター、トップツアー沖縄国内旅行センター、JTB横浜支店教育事業部、日本旅行神奈川教育旅行支店、神奈川県立港北高校、埼玉県西武台高校、JTB川越支店、東武トラベル埼玉教育旅行・埼玉西教育旅行支店、名鉄観光さいたま支店、近畿日本ツーリスト埼玉教育旅行支店、日本旅行埼玉教育旅行支店へPRキャラバンを実施した。 ・那覇市で開催された離島フェア、東京池袋で開催されたアイランダーへ出展し、ポスターやポストカード、観光パンフレット5,000部を配布しPRした。 ・渡嘉敷島MAPを委託制作し、日本語のほか英語、繁体語、簡体語、韓国語を各2万部ずつを印刷した。 ・観光情報誌「沖縄・離島情報」20万部発行への観光PR広告を掲載した。 ・慶良間太鼓同志会にトラック購入費を補助することにより、トラック1台購入した。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標 (指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	・県外高校修学旅行受け入数 H26年度 20校 (H25年度15校)	目 標	()	()	()	(20校)	()
		実 績			15校	18校	
	・離島フェアース来場者数 3,000人 (パンフ配布) ・アイランタプース来場者数 2,000人 (パンフ配布)	目 標	()	()	()	(5,000人)	()
		実 績				5,000人	
	・観光パンフレット作成40,000部 (4言語各10,000部)	目 標	()	()	()	4言語 40,000部	()
		実 績				5言語 100,000部	
	・観光情報誌への広告掲載 1誌	目 標	()	()	()	(1誌)	()
		実 績				1誌	
	進捗状況説明	・商工会に臨時職員1名の人件費を補助し、港待合所での観光案内のほか修学旅行受入れ対応及び新規誘致活動を実施した。修学旅行については、本年度は19校の予定であったが1校は台風の為キャンセルとなり18校の実績となった。また、商工観光課において臨時職員1名を採用し、とまりんフェスタや離島フェア、東京池袋で開催されたサンゴの日記念イベント 沖縄まつりに出展し貝殻ストラップづくり体験コーナーを運営し、フェイスブックで情報発信しPRに努めた。 ・11月に沖縄本島で開催された離島フェア及び東京都で開催されたアイランダーにおいては、予定していた部数の観光パンフレットを配布したほか、とかしきマラソンの申込書の配布も併せて実施した。 ・観光パンフレットについては、これまで外国語については英語版のみであったが、本事業においては中国語 (繁体版及び簡体版)、韓国語版を新たに制作し、周遊性を重視した渡嘉敷島MAPを制作した。中国語については、入域状況から2言語に増やして5言語制作とし、入域客数の急増により制作部数を増やした。 ・20万部発行される情報誌「沖縄・離島情報」B5版216頁にカラー1頁の広告を掲載した。阿波連ビーチの空撮写真のほか船舶運航情報や観光情報アプリ「とかしきナビ」及び村公式ホームページの情報を掲載した。 ・慶良間太鼓同志会にトラック購入費を補助することにより、トラック1台購入した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・夏場には多くの観光客が島を訪れるが、例年秋から冬にかけては閑散期となるため、この時期に修学旅行の受入れに取り組んでおり、平成24年の15校から本年度は18校にまで増加した (19校の予定であったが、1校は台風のためキャンセル)。 ・離島フェアにおいては、来場者に那覇から高速船で35分で訪れることができる島であることをPRし、貝殻ストラップづくり体験をとおして来場者との交流を図り県内の観光客誘致に取り組んだ。また、東京で開催されたアイランダーについては、国立公園指定を前面にだし「慶良間諸島渡嘉敷島」の認知度向上に努めた。 ・これまでの観光パンフレットでは情報が断片的で、島内の案内図も全体像が分かりづらいとの意見が寄せられていたため、周遊性を重視した構成にするともに、近年急激に増加している中国語圏などの観光客にも対応できるよう、英語のほか、中国語では繁体字、簡体字及び韓国語訳の「渡嘉敷島MAP」見開きA2サイズを制作し、5言語×2万部を印刷した。 ・沖縄の離島に特化した情報誌である「沖縄・離島情報」は、発行部数20万部でPR効果も高いため、カラー1頁の観光PR広告を掲載した。 ・本村の伝統芸能の一つとして村内外、県外でも広く活動している慶良間太鼓同志会の和太鼓等運搬用トラックの老朽化等により故障等が続き、購入を検討していたが、トラック購入費が高額であったため購入できずにいた。このままではこれまで行ってきた活動が制限され、村のPR活動にも支障が生じてしまう恐れがあったため、トラック購入費を補助した。	・少子化により生徒数が減少する中、修学旅行の誘致も厳しい状況にあるが、島の魅力ある体験メニューなど質の向上に努め誘致を図る。 ・イベントにおいて貝殻ストラップづくり体験など実施すると、来場者が切れ間なく順番待ちをする状況にあり、絶好の交流の機会と捉えてバリエーションを増やし、今後も継続して取り組みたいと考えている。 ・観光客の要望に応えられるよう、新しい情報を取り入れ校正していく。 ・沖縄離島観光のバイブルの情報誌であり、引き続き観光PR広告を掲載していく。 ・購入したトラックを利用して、今まで以上の村のPR活動を活発にしていこう指導していく必要がある。
今後の取り組み方針		
教育旅行や観光旅行は、地元の魅力を生かした体験メニューの開発及び質の向上、安心安全の確保を求められており臨機応変に対応していく必要がある。また、補助をした、慶良間太鼓同志会への更なる村のPR活動や、村内での観光客等を誘致できるような取組を行うよう指導助言を行っていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,445	15,445	12,356	3,089	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画コンペで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○慶良間諸島国立公園指定を受けて旅行雑誌「るぶ」特別編への掲載を追加等により、当初より、1,481千円増額執行し適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の4割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－② 渡嘉敷村美化清掃事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ			
					観光客の受入体制の整備			
担当部課名	商工観光課		事業実施 (予定) 年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)		
事業内容	観光地としてのイメージアップを図るため、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設の景観浄化を図る。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			(a)当初予算額	5,100	27,435	11,303		
			(b)予算現額	5,454	32,370	11,303		
			(c)増減額(b-a)	354	4,935	0		
			(d)繰越額	－	－	0		
	A. 計(b+d)		5,454	32,370	11,303			
	B. 執行済額		5,454	32,370	7,467			
	うち交付金充当額		4,363	25,898	5,974			
	次年度繰越額		0		0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	66%			
	予算の状況の説明		当初計画において、作業員5人の雇用を計画していたが、応募者がなく4人の雇用となったため賃金や社会保険料に不用品が生じ、減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地及びその周辺の公衆トイレ清掃、除草等の清掃作業 8箇所	目 標	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	()		
		実 績	8箇所	8箇所	8箇所			
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	作業員4人を雇用し、公衆トイレや公園施設の清掃、除草作業及び花の植栽を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、観光施設の除草及び清掃作業を周年実施。	目 標	()	(8箇所)	(8箇所)	(8箇所)	()	
		実 績		8箇所	8箇所	8箇所		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、渡嘉志久海岸公園及び照山園地、阿波連園地の清掃・除草作業を周年実施した。また、港待合施設にブーゲンビリアの鉢植えを配置し、観光案内休憩所周辺にはペゴニアやインパチェンスなど季節の花々を植栽し開花させた。これらの事業をととして公衆が利用する施設を清潔に美しく保つことができ、観光客から「トイレがきれいで気持ちよく利用できた。」などの声も聞かれ、今後の観光客の増加にもつながり地域振興にも寄与するものと考えます。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	渡嘉敷港旅客待合所のトイレ清掃など、利用者の混雑時間帯を避けるため、業務開始を午前8時からとしている。花を植えるプランターや培養土などを置く場所がなく、学校の敷地内の一角を置き場として利用している。	路地植えの草花などは、台風の襲来で全滅してしまうことがあり、継続して花のある環境を保つことが困難なため、荒天時に避難できる鉢植えを増やすなどの工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、観光施設の除草及び清掃作業については周年実施。また、花作りをとおして、住民にも美化意識を広めるよう花木を配布し、花のある集落づくりに取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
渡嘉敷村 7,467千円 賃金・社会保険料 5,795千円 臨時職員賃金 5403千円 〔臨時職員延べ5名分〕 社会保険料 392千円 〔臨時職員延べ3名分〕 需用費 169千円 燃料費 169千円 〔業務車両2台及び草刈り機3台燃料〕 備品購入費 1,503千円 琉球ダイハツ販売(株) 1,503千円 〔ハイゼットトラック多目的ダンプ4WD・・・1台〕				
評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
資金の 流れ、 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額が3,836千円あるが、作業員が当初5人雇用の予定が1人減となったため、予算規模は適正と考える。	
	ー	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。また、ハイゼット多目的ダンプトラックは、業務専用車両としている。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	渡嘉敷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－③ 渡嘉敷村観光受入体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－3－(12)－ア		
					観光リゾート産業の振興		
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定) 年度	平成26年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)	
事業内容	観光客の受け入れ態勢整備のため、慶良間諸島間内航路運航を実施し交通手段を確保する。また、修学旅行誘致のため村営キャンプ場の備品を整備し、観光振興を図る。ホームページ多言語案内システムを構築し、外国人観光客への情報発信の充実を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	9,087				
		(b)予算現額	7,956				
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,131				
		(d)繰越額	－				
		A. 計(b+d)	7,956				
	B. 執行済額		7,956				
	うち交付金充当額		6,364				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		村営キャンプ場の備品整備では当初、小型のバーベキュー台の製作とイスの製作も予定していたが、防雨型で、キャスター付とし、鉄板のサイズも大型に変更したため、大型のバーベキューグリルと置台10組の製作を行い、ほぼ予算の範囲に収まった。しかし、内航船の運航率が伸びず、またホームページの翻訳機能追加では民間の自動翻訳サービスを利用したことで費用が縮小し不用額が発生した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	渡嘉敷～座間味内航船運航開始	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
	バーベキュー機材購入	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
	ホームページ多言語案内システム構築	目 標	(システム構築)	()	()	()	
		実 績	完了				
	達成状況説明	慶良間諸島間内航船事業においては、468便の3,115人の旅客輸送の実績を達成でき、村営キャンプ場の備品整備ではバーベキューグリル鉄板寸法900mm×550mm×12mmのグリルとステンレス製置台(5kgLPガスボンベ2個搭載可能。)をセットで10組制作した。また、ホームページの翻訳機能追加で6カ国語を自動翻訳することが出来るようになり多種多様な観光客のニーズに対応出来た。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度
内航船運航開始による慶良間諸島周遊観光の利用者数		目 標	()	(3,000人)	()		()
		実 績		3,115人			
バーベキュー機材購入完了及び貸出開始		目 標	()	(大セット10台 小セット10台 イス60脚)	()		()
		実 績		大セット10台			
ホームページ7ヶ国語構築完了及びシステム開始(日本語・英語・中国語(簡体・繁体)・韓国語・スペイン語・ドイツ語)		目 標	()	(7カ国語)	()		()
		実 績		7カ国語			
進捗状況説明	慶良間諸島間内航船事業の実施により3,115人の観光客の利用が達成でき、村営キャンプ場の備品整備では当初、小型のバーベキュー台の製作とイスの製作も予定していたが、屋外での使用に耐えうよう防雨型で、キャスター付とし、鉄板のサイズも大型に変更したため、10組の製作となった。また、ホームページの翻訳機能追加で外国人観光客の利便性向上となった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	慶良間諸島間内航船事業が周知されてるか疑問である。 村営キャンプ場の備品整備では専門知識に乏しく設計に時間を要したが、機材の性能について修学旅行受入れ部会との調整を重ね実用性の高いものができたと考える。ホームページの翻訳機能追加では、自動翻訳であるため完全に翻訳されない箇所もある。	慶良間諸島間内航船利用者増のため周知を徹底する。 村営キャンプ場でのバーベキューの際に使用するイスやテーブルなども今後整備し、利用者の利便性向上に努める。 ホームページの翻訳機能で完全に翻訳できない箇所をどう改善する必要がある。
今後の取り組み方針		
慶良間諸島間内航船事業の更なる周知を図るため、事業者への広報やホームページでの広報活動を強化する。 村営キャンプ場の備品については、実際に使用する上で、改善点などがある場合は改善に努める。 ホームページの翻訳機能で翻訳できない箇所の検証結果をもとに改善する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>7,956</td><td>7,956</td><td>6,364</td><td>1,592</td><td>0</td></tr></table> ・慶良間諸島間内航船事業 渡嘉敷村 1,376千円 負担金 1,376千円 座間味村 1,376千円 〔燃料費、保険料負担〕 ・村営キャンプ場の備品整備 渡嘉敷村 6,256千円 委託料 6,256千円 (有) 渡嘉敷石油 6,256千円 〔バーベキューグリル及び置台制作10組 ※5kgLPガスボンベ20本含む。〕 ・ホームページ翻訳機能 渡嘉敷村 324千円 委託料 324千円 (株)情報システムヘルパー 324千円 〔ホームページの7カ国語自動翻訳機能〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,956	7,956	6,364	1,592	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,956	7,956	6,364	1,592	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品整備の委託事業者は企画コンペで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の1%以内であり適正な規模であり、費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。 ○内航船負担金については協定書に基づき支出しているので妥当である。 ○翻訳機能追加では、3者見積により業者選定を行った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
						交通・生活コストの低減	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成 2 5 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者に対し、料金の半額を補助する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の 状況	(a)当初予算額	2,079	3,300			
		(b)予算現額	2,970	3,300			
		(c)増減額(b-a)	891	0			
		(d)繰越額	—	0			
		A. 計(b+d)	2,970	3,300			
	B. 執行済額		2,160	1,080			
	うち交付金充当額		1,728	864			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)		72.7%	33%			
予算の状況の説明		補助金支出条件が天候不良に伴う船舶欠航時のため、予測をする事が難しく また、今年度は天候に恵まれヘリコプター利用率低下となり執行率が33%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	利用フライト回数	目 標	(利用人数:385人)	(110回)	()	()	
		実 績	利用人数:277人	42回			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	今年度は天候に恵まれ定期船の欠航回数減に伴い、ヘリコプターの運航回数が前年度が72便、今年度が42便と減少したことにより利用者也減少し目標を達成できなかった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	運航回数及び搭乗人数	目 標	()	(利用人数: 385人)	(110回 385人)	()	()
		実 績		利用人数:277人	42回 126人		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗 状況 説明	事業の実施により、観光客や住民の補完的交通手段として、今年度は126人の利便性の向上に繋がった。しかし、本事業のヘリコプターをチャーターする場合の条件が、天候不良による村営定期船が欠航した場合のみのため、天候に恵まれた今年度は目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民の福祉及び観光客の利便性の向上に繋がったが、全てに周知が行き届いたか疑問である。	更なる利用者増のため新たな周知方策を検討する
今後の取り組み方針		
住民や観光客に「渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業」の更なる周知を図る為、村のホームページでの広報活動等を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,080</td><td>1,080</td><td>864</td><td>216</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,080	1,080	864	216	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,080	1,080	864	216	0										
渡嘉敷村 1, 080千円 → 補助金 1, 080千円 → アイリス航空(株) 1, 080千円 〔 運航経費 〕														
資金の流 れ、費 用、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定については、アイリス航空(株)の1社のみがヘリ運航事業者として参入しているので妥当と考える。予算規模については、これまでの船舶欠航実績により見積判断している為、妥当と考える。受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。また、天候不良による船舶欠航時のみ事業適用し執行している。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
		受益者との負担関係は妥当であるか。												
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑤ 渡嘉敷村観光施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3－3－(2)				
				ウ 観光客の受入体制の整備				
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	渡嘉敷村青少年旅行村施設案内板の設置、キャンプ場に隣接する老朽化したトイレ、炊事棟、シャワー棟の撤去及び、渡嘉志久海岸公園内の木製人道橋の改修を行い、利用客の安全確保及び景観の美化を図る。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	23,720					
		(b)予算現額	23,720					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	23,720					
	B. 執行済額		7.302					
	うち交付金充当額		5.842					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		30.8%					
予算の状況の説明		・木製人道橋の最下部の梁が1か所折れたものを取り替える修理を予定していたが、取扱い業者によると、全体をセットとして加工製作されているため、部分的な取り換えは不可能とのことで修理を断念したほか、渡嘉志久ビーチでの水難監視員の応募がなく実施できなかった。また、待機所については当初2箇所設置予定としていたが、代替えとなる施設整備が予定されており、1箇所のみ設置に変更し、不用額が発生した。 ・渡嘉敷島模型制作については、予定とおり執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	・青少年旅行村施設案内板制作設置	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	・老朽化施設(トイレ、シャワー、炊事棟)撤去工事	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	・木製長いす制作	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	・木製人道橋改修工事	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施せず					
	・渡嘉志久ビーチ水難監視員配置	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施せず					
	・バス停留所設置	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	・島の模型制作	目 標	(実施)	()	()	()		
実 績		実施						
達成状況説明	・青少年旅行村施設の案内看板1,800mm×900mm・・・1基、900mm×1500mm首下500mm・・・1基を制作設置し、既存案内板の案内図1,100mm×800mm・・・1枚を制作し張り替えた。 ・青少年旅行村キャンプ場に隣接する老朽化したトイレ2棟、炊事シャワー施設1棟を解体撤去した。 ・木製長いす378mm×2,000mm×t400mm(4人掛け)40台を制作した。 ・木製人道橋・・・部分修理不可。 ・渡嘉志久ビーチ水難監視員配置・・・応募者がなく実施できず。 ・バス停留所設置により、直射日光や風雨からバス利用者を守り、サービスの改善ができた。 ・渡嘉敷島の模型製作事業はすべて達成できた。							

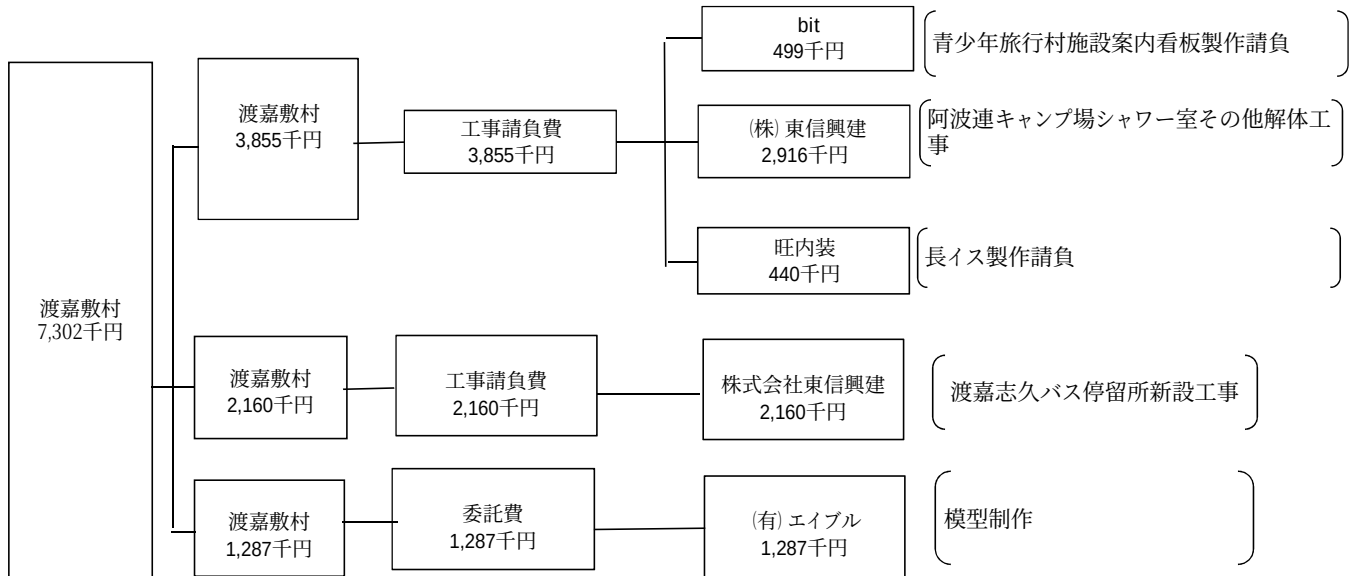
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標 (指標)		基準値 (年度)	26年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	・村青少年旅行村施設案内板制作設置完了	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	・老朽化施設の撤去工事完了	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	・木製長いす制作完了	目 標	()	(40脚)	()	()	()
		実 績		40脚			
	・木製人道橋改修工事完了	目 標	()	(1か所)	()	()	()
		実 績		実施せず			
	・渡嘉志久ビーチ水難監視員3名 (常時2名) 配置	目 標	()	(3名)	()	()	()
		実 績		0名			
	・バス停留所設置完了	目 標	()	(バス停2箇所)	()	()	()
		実 績		バス停1箇所			
	・島の模型制作完了	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施			
	進捗状況説明	・青少年旅行村施設の案内看板1,800mm×900mm・・・1基、900mm×1500mm首下500mm・・・1基を制作設置し、既存案内板の案内図1,100mm×800mm・・・1枚を制作し張り替え、観光客が利用するトイレ・シャワー施設や駐車場、キャンプ場の位置を英語表記を併記して設置した。また、既存の案内図について表示内容が現況と異なるため最新情報の案内図に張り替え観光客へ正確な情報を提供できるようになった。 ・青少年旅行村キャンプ場に隣接する老朽化し、危険なため使用できなくなったコンクリートブロック造のトイレ2棟、炊事シャワー施設1棟を解体撤去し、安全確保と景観の美化することができた。 ・木製長椅子378mm×2,000mm×t400mm (4人掛け) 40台を制作し、観光客のバス待合時間や、定期船乗船待ち時間などに腰かけて待つことができるようになり観光客へのサービス向上につながった。 ・木製人道橋改修・・・梁の部分については構造上部材の取り換えができず改修できなかった。 ・渡嘉志久ビーチ水難監視員配置・・・応募者がなく実施できなかった。 ・当初2箇所のバス停留所を設置予定としたが、施設整備が予定されており1箇所を整備完成し、観光客へのサービス向上ができた。 ・渡嘉敷島の模型製作事業はすべて達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・以前に設置した案内板はその内容が現況と合致していない部分があった。 ・木製人道橋については、全体を1組として加工組み立てられているもので、特に梁のような重要な構造部分については取り換えができないとのことであったため修理不可能となった。 ・ビーチの水難監視員については、夏場の一時的な業務であり人材の確保ができず実施できなかった。 ・今回のバス停留所設置により、観光客へのサービス向上は図られた。しかしながら、外観が乏しいことから周囲へ花木等の植栽を行う。 ・渡嘉敷港旅客待合所内に渡嘉敷島の模型設置後は多くの観光客が島の模型に集まって入る状況が確認できたので、島の模型を活用して島内観光地巡りをしていると思われる。	・案内板については、その内容が現況と合致するよう変化に合わせて改善していく必要がある。 ・修理の可否について、計画段階でメーカーに確認する必要がある。 ・ビーチ水難監視員の人材確保は困難と思われる。注意喚起看板設置で対応していく必要がある。 ・バス停近くにブーゲンビリア等の花木を周囲へ植栽し、観光客へのイメージアップへつなげる。 ・観光施設の新規施設の追加や島の公共施設等の増減や変化に応じて模型を修正する必要がある。
今後の取り組み方針		
・経年劣化等老朽化した施設の長寿命化対策と、利用しやすいように改善を行う。 ・日帰り海水浴客については、監視員を配置している阿波連ビーチへ案内する。 ・バス停については定期的な点検・清掃を実施し、ゴミ・落書きなどが無いよう努める。 ・模型については、渡嘉敷港旅客待合所内に配置している旅の案内人が島の模型を活用して詳細な説明ができるよう取り組む。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
7,302	7,302	5,842	1,460	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は入札 (130万円未満は随意契約) により選定しており、妥当であったと考えている。 ○人材確保できずビーチの水難監視員配置事業が実施できなかった分については、他の事業に流用し執行した。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		2	渡嘉敷村農地保全事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－3－(12)－イ		
担当部課名		商工観光課	事業実施 (予定) 年度	平成24年～平成33年	沖縄振興基本方針 該当箇所		離島の特徴を生かした産業振興 と新たな展開		
							III-1-(6)		
事業内容		農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して農産物を生産させ、農業振興を図るため、イノシシの捕獲駆除を行う。							
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,664	1,250	400			
			(b)予算現額	4,664	1,250	400			
			(c)増減額(b-a)	0	0	0			
			(d)繰越額	－	0	0			
			A. 計(b+d)	4,664	1,250	400			
		B. 執行済額		4,099	1,133	394			
		うち交付金充当額		3,279	906	315			
		次年度繰越額		0	0	0			
		執行率(%) (B/A)		87.9%	90.6%	98.5%			
		予算の状況の説明		当初計画した事業はすべて実施した。					
		活動目標 (指標) 及び達成状況		H26活動目標(指標)		達成状況			
				24年度	25年度	26年度	27年度		
イノシシの捕獲駆除実施	目 標			(捕獲器8器 巡回車両1台購入)	(イノシシ餌付け用餌 巡回用バイク2台購入)	(イノシシ餌付け用餌購入)	()		
	実 績			捕獲器8器 巡回車両1台購入	イノシシ餌付け用餌 巡回用バイク1台購入	イノシシ餌付け用餌購入			
	目 標			()	()	()	()		
	実 績								
達成 状 況 説 明	定期的な見回りを実施し、イノシシの多発地帯へ箱罠の設置を行い、状況に応じた捕獲作業を実施している。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況				H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度
		イノシシの捕獲駆除実施	目 標	()	(100)	(100)	(100)	()	
			実 績		101	99	122		
			目 標	()	()	()	()	()	
			実 績						
		進 捗 状 況 説 明	年間捕獲目標の120頭は達成できているが、農作物の被害は横ばい状態となっている。捕獲実績は増加しているが、被害状況は横ばいとなっている。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	季節やイノシシの習性によるものと思われる要因で、月によって捕獲頭数のばらつきがある。村内各地での目撃や道路沿いの掘り起こし等が見られるなど、被害が広域化しており、繁殖による増加に捕獲が追いついていないと思われる。	引き続き箱罠設置により地道な捕獲活動を展開し、さらに箱罠を購入して捕獲の強化を図る。
今後の取り組み方針		
狩猟免許講習会への受講料を補助し、箱罠の設置台数を増やすことにより捕獲要員の確保に努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
394	394	315	79	0

渡嘉敷村
394千円

→

需用費
394千円

〔 餌付け用エサ、他消耗品 〕

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は妥当であったと考えている。 ○若干の執行残が発生したが適正な規模であった。 ○費目・使途については適正に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	小学校学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	1,260	3,744	4,644		
		(b)予算現額	1,260	4,419	4,644		
		(c)増減額(b-a)	0	675	0		
		(d)繰越額	—	—	—		
		A. 計(b+d)	1,260	4,419	4,644		
	B. 執行済額		750	3,965	1,431		
	うち交付金充当額		600	3,172	1,144		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		59.5%	89.7%	31%		
予算の状況の説明		・不用額が3,213千円発生しているが、阿波連小学校に5月間支援員を配置できなかったことや、支援員の賃金を一部県費で負担したこと、また、支援員が当初予定していた民間借上住宅ではなく、教員宿舎に入居できたことによるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習支援員配置数 渡嘉敷小学校1人 阿波連小学校1人	目標	(1人)	(2人)	(2人)	()	
		実績	1人	2人	2人		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・複式学級である渡嘉敷小学校の2・3年及び阿波連小学校の3・4年、5・6年の算数と国語の授業を支援したことで、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図れた。 ・活動目標は達成している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	村内小学校への支援者派遣率	目標	(0%)	(50%)	(100%)	(100%)	()
		実績		50%	100%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・全国学力・学習状況調査結果より、H24の平均正答率67.1%に対しH26が68.4%と1.3%上昇し、H24から毎年全国平均ポイントを上回っており、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図ることができ、今後も更なる学力向上や教職員の負担軽減が期待されることから、実施を検討する。 ・成果目標は達成している。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・全国学力・学習状況調査結果より、学習支援員を配置したことで児童の学力向上に繋がった。 ・複式学級で担当教諭と学習支援員2人体制での授業環境により、教諭の負担軽減が図られた。	・全国学力・学習状況調査結果より、H24の平均正答率67.1%に対しH26が68.4%と1.3%上昇し、H24から毎年全国平均ポイントを上回っているが、今後授業環境の向上を図り平均正答率を70.0%台にするよう努める。
今後の取り組み方針		
・複式学級における担当教諭と学習支援員による授業環境の向上により、子ども達の更なる学力向上や教職員の負担軽減を図っていくため、2校で2人の学習支援員の配置体制を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,431</td><td>1,431</td><td>1,144</td><td>287</td><td>0</td></tr> </table> 渡嘉敷村 1,431千円 賃金 1,151千円 賃借料 280千円 渡嘉敷小学校学習支援員 (1名) 733千円 阿波連小学校学習支援員 (1名) 418千円 学習支援員住宅借上料 280千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,431	1,431	1,144	287	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,431	1,431	1,144	287	0										
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の選定は公募等による選考採用を行っており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、賃金の時給算定を臨時職員等の給与に関する規則及び資格等を考慮し行っていることや、賃借料の算出も近傍同種及び物件の使用形態等を考慮し算出しており、妥当であったと考える。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、賃金は出勤簿等で管理をし臨時職員等の給与に関する規則に基づき支給していることや、住宅家賃についても、賃貸借契約に基づいて適正な支出をし事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		渡嘉敷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		3-② 児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア	
担当部課名		教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成 2 5 ～ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 III-3-(1)	
事業内容		村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことにより、離島の教育的なハンディである競争意識が弱い傾向を克服する。						
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		予算の状況	(a)当初予算額	1,992	2,477			
			(b)予算現額	1,992	2,477			
			(c)増減額(b-a)	0	0			
			(d)繰越額	—	—			
			A. 計(b+d)	1,992	2,477			
		B. 執行済額		1,455	1,910			
		うち交付金充当額		1,164	1,528			
		次年度繰越額		0	0			
		執行率(%) (B/A)		73.0%	77.1%			
予算の状況の説明		・不用額が567千円発生しているが、県大会における本島以外の離島開催に伴う派遣費について、規定により交付金事業の対象外であったことや、大会への派遣期間の短縮により派遣費が縮減したものであり、当初計画していた事業内容は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況		H26活動目標(指標)		達成状況				
				25年度	26年度	27年度	28年度	
		各種スポーツ大会・文化祭等派遣 小学校2校 中学校1校	目 標	(3校)	(3校)	()	()	
			実 績	3校	3校			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	・離島小規模校の教育的なハンディである小人数で競争意識が弱い傾向であったが、渡嘉敷小学校と阿波連小学校及び渡嘉敷中学校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたことで、競争意識が弱い傾向の克服に繋がり活動目標は達成している。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H26成果目標(指標)		基準値(25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		派遣児童・生徒数(累計):185人	目 標	()	(195人)	(185人)	()	()
			実 績		100人	167人		
			目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	・地区大会から県大会等上位への進出に伴う派遣人数の減少により、当初目標に対して▲18人となったが、3校の児童・生徒全員が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたことで、離島の教育的なハンディである競争意識が弱い傾向の克服に繋がり概ね成果目標は達成している。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加したことで、児童生徒の競争意識が強くなり競技力等の向上に繋がった。 ・教育活動の一環として村外で実施される大会等に児童生徒を派遣しているため、部活動等を継続的に質の高い取組を行う必要がある。	・児童生徒の競争意識を更に高め、部活動等を継続的に質の高い取組を行うことで県大会等上位大会に勝ち進める競技力等の向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
・村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、離島の教育的なハンディの克服を図るため児童・生徒を継続して派遣する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,244	1,910	1,528	382	334

渡嘉敷村
1,910千円

補助金
1,910千円

阿波連小学校児童派遣費
296千円

〔保護者負担分(交付対象
外経費) 76千円〕

渡嘉敷小学校児童派遣費
162千円

〔保護者負担分(交付対象
外経費) 36千円〕

渡嘉敷中学校生徒派遣費
1,452千円

〔保護者負担分(交付対象
外経費) 222千円〕

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金(児童・生徒派遣費)については、渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程に基づき支給していることや、派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○受益者負担については、渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程に基づいて保護者からの一律負担となっており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村												
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】														
事業番号・事業名		3-③		幼稚園預かり保育事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-イ						
担当部課名		教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成25～33年度		地域における子育て支援の充実						
						沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)						
事業内容		保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、幼稚園において預かり保育を実施する。												
実施方法		■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()												
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		
		予算の状況	(a)当初予算額	1,026		1,026								
			(b)予算現額	1,026		1,164								
			(c)増減額(b-a)	0		138								
			(d)繰越額	—		—								
			A. 計(b+d)	1,026		1,164								
		B. 執行済額		903		1,164								
		うち交付金充当額		722		931								
		次年度繰越額		0		0								
		執行率(%) (B/A)		88.0%		100.0%								
予算の状況の説明		・予算額が138千円増額しているが、本務教諭の出張や休暇等で保育支援が必要となり勤務時間を延長したことによるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。												
活動目標(指標)及び達成状況		H26活動目標(指標)			達成状況									
					25年度		26年度		27年度		28年度			
		預かり保育(賃金職員雇用) 1人	目 標	(1人)		(1人)		()		()				
			実 績	1人		2人								
			目 標	()		()		()		()				
			実 績											
達成状況説明	・当初は1人で預かり保育を担当していたが、諸事情により毎日勤務できなくなったことから、新たに1人採用し2人の職員を配置したことで、保育環境が充実し親子が健やかで安心した日常生活が送れるようになり、活動目標は達成している。													
成果目標(指標)及び進捗状況		H26成果目標(指標)			基準値(25年度)		25年度		26年度		27年度		目標値(年度)	
		入園児全員の預かり保育が可能となる。	目 標	(100%)		(100%)		(100%)		()		()		
			実 績			100%		100%						
		保護者のニーズに合った対応が可能となる。(預かり保育利用園児数)	目 標	(22人)		(22人)		(20人)		()		()		
			実 績			22人		20人						
		進捗状況説明	・預かり保育の要望園児20人全員を受入し、今後も全園児の受入要望が見込まれることから成果目標は達成している。											

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・幼稚園に預かり保育担当の賃金職員を雇用することで、保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、預かり保育を実施し成果目標を達成できた。 ・保育参観や保護者集会などで意見を聞いた結果においては、特に問題点等は無く概ね保護者の理解が得られているものとする。	・幼稚園に預かり保育担当の賃金職員を雇用することで、保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、預かり保育を実施し成果目標を達成しているが、今後も引き続き保護者等からの意見を聞き、更に充実した保育環境に努める。
今後の取り組み方針		
・園児の更なる保育環境を充実させるため、2人の預かり担当職員の配置を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,164</td><td>1,164</td><td>931</td><td>233</td><td>0</td></tr> </table> 渡嘉敷村 1,164千円 賃金 1,164千円 幼稚園預かり保育賃金職員(2名) 1,164千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,164	1,164	931	233	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,164	1,164	931	233	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○預かり保育職員の選定は公募等による選考採用を行っており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、賃金の時給算定を臨時職員等の給与に関する規則及び資格等を考慮して算出しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、賃金で雇用し出勤簿等で管理を行い、臨時職員等の給与に関する規則に基づき、事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④ 小学校学習補助員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ			
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成 2 6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所			
生活環境の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上								
III-3-(1)								
事業内容	渡嘉敷小学校1年生入学児に多動性障害児が在籍しており、教科学習の支援や集団行動の支援、及び他児童との平穏な活動体制を維持していくため学習補助員を配置する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,800					
		(b)予算現額	1,800					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	1,800					
	B. 執行済額		1,315					
	うち交付金充当額		1,052					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		73.1%					
予算の状況の説明		・不用額が485千円発生しているが、予定より勤務時間数が減少したことや、採用時の算定時給が低くなったことによるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	学習補助員(賃金職員雇用) 1人	目 標	(1人)					
		実 績	1人					
		目 標	()					
		実 績						
達成状況説明	・渡嘉敷小学校1学年に学習補助員を配置したことで、教科学習の支援や集団行動の支援を行い、他児童との平穏な活動体制が維持できた。活動目標は達成している。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	当該児童及び他児童の健全な学習環境の維持 支援サポートした児童数 6人	目 標	()	(6人)			()	
		実 績		6人				
		目 標	()	()			()	
		実 績						
	進捗状況説明	・学習補助員が多動性障害児を支援したことにより、他の1年生5人共に平穏な授業環境が保たれ、教科学習及び集団行動が計画どおり実施されたことで成果目標は達成している。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・渡嘉敷小学校1学年に学習補助員を配置したことで、教科学習の支援や集団行動の支援を行い、他児童との平穏な活動体制が維持できたことにより成果目標を達成できた。 ・授業参観や保護者集会などで意見を聞いた結果においては、特に問題点等は無く概ね保護者の理解が得られているものとする。 ・他の児童からも直接意見を聞いた結果においては、特に問題点等は無く概ね学級活動に支障は無いものとする。	・渡嘉敷小学校1学年に学習補助員を配置したことで、教科学習の支援や集団行動の支援を行い、他児童との平穏な活動体制が維持できたことにより成果目標を達成しているため、現況においては改善余地が無いものと考えます。 ・当初はH26のみの配置計画であったが、今後当該児童が進級し発育していく段階において、行動等が落ち着き改善した場合は、配置する必要性を十分に検証した上で継続配置を検討したい。
今後の取り組み方針		
・当該児童の在籍する学年の更なる教育環境を充実させるため、1人の学習補助員の配置を維持する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,315</td><td>1,315</td><td>1,052</td><td>263</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 渡嘉敷村 1,315千円 賃金 1,315千円 渡嘉敷小学校学習補助員(1名) 1,315千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,315	1,315	1,052	263	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,315	1,315	1,052	263	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習補助員の選定は公募等による選考採用を行っており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、賃金の時給算定を臨時職員等の給与に関する規則及び資格等を考慮して算出しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、賃金で雇用し出勤簿等で管理を行い、臨時職員等の給与に関する規則に基づき、事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村						
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	避難道整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備 III-10-(2)		
事業内容	本村は年間10万人を越える観光客が来島するため、災害発生時における地理的条件等を把握してない観光客を安全に避難場所まで誘導するために、避難道の整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,350				
		(b)予算現額	3,800				
		(c)増減額(b-a)	▲1,550				
		(d)繰越額	—				
	A. 計(b+d)		3,800				
	B. 執行済額		3,800				
	うち交付金充当額		3,040				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		避難路の施工整備は未整備となり、設計整備のみとなったことにより1,550千円減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	災害発生時に安全安心に避難できるよう避難場所までの避難道を整備する。	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	未完了				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当初の事業計画では避難路の整備設置までを検討していた為、事業名は「避難道路整備」の契約名称は「整備・設置」となっている。しかし、避難路の選定作業等に時間を要したことから、当初の「整備・設置」計画から「設計整備」へと事業計画を変更し、渡嘉敷区に2箇所と阿波連区に1箇所の避難路の設計整備を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	27年度	目標値 (年度)
	避難道路整備完了	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		未完了			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	当初の「避難路の整備設置」事業計画から「設計整備」へと事業計画を見直し、渡嘉敷区に2箇所と阿波連区に1箇所の避難道路の設計整備を行った。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	今回、3箇所の避難道路設計整備を行ったが、その他にも必要性がないか疑問である。	避難道路としての更なる改善点がないか検討する。
今後の取り組み方針		
今後は、渡嘉敷区2箇所と阿波連区1箇所の避難道路の設計に基づき、早急な施工整備を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,800</td><td>3,800</td><td>3,040</td><td>760</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,800	3,800	3,040	760	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,800	3,800	3,040	760	0										
渡嘉敷村 3,800千円 委託料 3,800千円 (株)日興建設 コンサルタント 3,800千円 渡嘉敷村避難道路整備及び避難場所案内版設置業務委託														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により実績や技術等を勘案し選定しており妥当と判断する。 ○予算規模に関しては委託内容に即した内容で妥当である。 ○費用・使途については、完了検査で適正な内容であると判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	避難場所案内版設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成 2 6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備 III-10-(2)			
事業内容	災害発生時における避難場所への誘導経路を観光客等でも対応出来るよう避難場所、及び避難経路の案内版を設置する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,000					
		(b)予算現額	1,060					
		(c)増減額(b-a)	60					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	1,060					
	B. 執行済額		1,060					
	うち交付金充当額		848					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		案内版の数量や材質等により、60千円の増額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	災害発生時に安全安心に避難場所まで避難が出来るよう案内版を設置する。	目 標	(実施)	()	()	()	()	
		実 績	未完了					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	当初の事業計画では避難場所の案内版設置までを検討していた為、事業名及び契約名称も「案内版設置」となっている。しかし、避難路の選定作業や案内版の設置場所の検討作業等に時間を要したことから、当初の「案内版設置」計画から「設計整備」へと事業計画を変更し、渡嘉敷地区に10箇所、渡嘉志久地区に5箇所、阿波連地区に7箇所の計22箇所の案内版の設計整備を達成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	避難場所案内版の設置完了	目 標	()	(6箇所)	()	()	()	
		実 績		0箇所				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	当初の「案内版設置」事業計画から「設計整備」へと事業計画を見直し、渡嘉敷地区に10箇所、渡嘉志久地区に5箇所、阿波連地区に7箇所の計22箇所の案内版等の設計整備を行った。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	今回、22箇所の案内版等の設置設計整備を行ったが、その他にも必要性がないか疑問である。	今回の設置整備箇所です実際にスムーズな避難が出来るか検討する。
今後の取り組み方針		
今後は、渡嘉敷地区に10箇所、渡嘉志久地区に5箇所、阿波連地区に7箇所の計22箇所の案内版等の設置設計に基づき、地域の特殊性等(台風及び観光シーズン等)を鑑み早急な施工整備を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>1,060</td><td>1,060</td><td>848</td><td>212</td><td>0</td></tr> </table> 渡嘉敷村 1,060千円 委託料 1,060千円 (株)日興建設 コンサルタント 1,060千円 渡嘉敷村避難道路整備及び避難場所案内版設置業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,060	1,060	848	212	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,060	1,060	848	212	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により実績や技術等を勘案し選定しており妥当と判断する。 ○予算規模に関しては3社見積を参考に算出したので、委託内容に即した内容で妥当である。 ○費用・使途については、完了検査で適正な内容であると判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	渡嘉敷村							
平成 2 6 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5	渡嘉敷村保育所整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(2)		
担当部課名	民生課	事業実施 (予定) 年度	平成26～27年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	子育てセーフティーネットの充実		
事業内容	本村のへき地保育所は築30年以上経過しており、老朽化が進行している。幼児が安心・安全で快適に過ごすことが出来る、新しい耐震基準を満たす保育所を整備し、多様化した保育ニーズに対応出来る保育環境を確保し、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	214,914					
		(b)予算現額	15,660					
		(c)増減額(b-a)	▲ 199,254					
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	15,660					
	B. 執行済額		15,660					
	うち交付金充当額		12,528					
	次年度繰越額		-					
	執行率(%) (B/A)		100%					
予算の状況の説明		平成26年度の保育所整備工事では、建設工事請負業務を取り止め、設計委託業務と磁気探査委託業務を実施した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度		
	設計業務委託	目 標	(工事設計業務委託)	()	()	()		
		実 績	工事設計完了					
	磁気探査業務	目 標	(磁気探査業務)	()	()	()		
		実 績	磁気探査業務完了					
達成 状況 説明	工事請負業務については、工期の補確が保が困難な状況となったことから、当年度での実施を取り止めたが、設計業務と磁気探査業務については年度内に実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)	
	設計業務委託	目 標	()	(工事設計業務委託)	()	()	()	
		実 績		工事設計完了				
	磁気探査業務	目 標	()	(磁気探査業務)	()	()	()	
		実 績		磁気探査業務完了				
	進 捗 状 況 説 明	工事請負業務は取り止めとしたが、設計業務と磁気探査業務は目標どおり完了する事が出来た。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	設計委託業務、磁気探査業務、工事請負業務のすべてを年度内完成することを目標としたことに無理が生じた。	工事請負期間に7ヶ月～9ヶ月を要することが示されたことから、当初の予定年度では実施が困難となった。 設計から工事期間の工期設定に余裕を持つべきである。
今後の取り組み方針		
保育環境の整備に対する要望、期待が大きいので、早期の完成、事業開始に向け取り組んで行く。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,660</td><td>15,660</td><td>12,528</td><td>3,132</td><td>0</td></tr> </table> 渡嘉敷村 15,660千円 委託料 15,660千円 (有)エムエー設計事務所 12,204千円 (株)沖縄計測 3,456千円 保育所設計委託業務一式 保育所建設用地磁気探査業務一式					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,660	15,660	12,528	3,132	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,660	15,660	12,528	3,132	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模に関しては、3社見積を参考に算出したので、委託内容に即した内容で妥当である。										
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であったと判断した。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												